



閉校式・開校式を開催しました

地域・保護者の皆様、学校関係者への感謝の思いを込めて、当日の様子をお届けします。

【閉校式】

児童生徒代表あいさつ

校歌斉唱

内海小学校
2月27日(日)



金高由奈

「内海小学校には特徴を生かした活動が沢山あります。自然を生かした活動は、内海小学校の魅力だと思います。全校で遊ぶなかよしタイムでは、学年関係なく他学年の人とも仲良く遊ぶことで、より仲を深めることができています。私はこのようなみんなと仲良く誰とでも協力できる内海小学校が大好きです。私は内海小学校で学べたことに自信を持ち身につけた力を生かしてこれからも一生懸命頑張ります。」



常石小学校
3月5日(土)



吉元愛海

「私はこの常石小学校で小学校生活を送れたことをとても嬉しく思っています。地域の皆さんは私たちの学びを全力でサポートしてくださいました。朝早くから見守ってくださいたり、学びのために土地を貸してくださいたり、常石のことをたくさん教えてくださいました。常石は優しい人がいて素敵な町だということを実感しました。私たちは常石小学校で学んできたことを活かし、これからも地域に誇りをもって歩いていこうと思います。」



内浦小学校
3月6日(日)



伊藤千尋

「学校には皆さんの歴史が一杯詰まっていると思いました。この学校は昔からずっと、子どもと先生と地域の皆さんがいつも一緒に頑張れる、家族のような学校だったのだと思いました。私は内浦小学校で学んでよかったです。自然豊かな内浦小学校で学習して、努力すること、継続する力がついたことに感謝しています。ここで学んだことを忘れずに、これからも未来に向かって努力し続けたいと思います。」



千年小学校
3月12日(土)



尾方梨華

「私はこの千年小学校で6年間を過ごしてきました。その中で沢山の力がついたり、沢山の思い出が出来ました。もう少しで千年小学校は閉校します。しかし、みんなの中に千年小学校の思い出がいつまでも残っていれば、千年小学校が忘れられることはないと思います。皆さん、この千年小学校でつけた力、沢山の思い出を、いつまでも忘れずに生きていきましょう。」



能登原小学校
3月17日(木)



石岡那由多

「能登原小学校で出会えた仲間、地域の方々、そして先生方、能登原小学校での学びは私たちみんなを成長させてくれました。そして沢山のかけがえのない思い出を与えてくれました。私は能登原小学校の最後の卒業生としてこの素晴らしい学校で皆さんと学べたことを誇りに思います。私たちが育て続けてくれた能登原小学校のことを絶対に忘れません。本当にありがとうございました。」



千年中学校
3月19日(土)



藏本なつみ

「私はこの千年中学校の校歌が大好きです。明るいメロディに元気をもらえる歌詞をのせたこの歌は、昔の先生方が生徒たちと制作してできた歌だそうです。長い間受け継がれてきた校歌は多くの人に愛されてきました。校歌とともに作り上げた思い出や得た力は新しい学園になっても生かし続けていきます。」



内海中学校
3月20日(日)



塚崎心海

「私たちは少人数ながらに様々な場面で地域の皆様に支えられながら、他校には負けない素晴らしい学校生活を送ることができました。豊かな自然と温かい人々に包まれここまで伝統を築き上げてきた内海中学校。ともに学び、ともに成長できたことを誇りに思います。そして内海中学校の有終の美に立ち合えたことに感謝します。伝統を忘れることなく、これからも精進していきます。ありがとう、内海中学校」



それぞれの学校がこれまでの歴史を振り返り、学校教育を支えてくださった地域への思いにあふれた閉校式でした。思い出いっぱいの学び舎との別れはさみしいけれど、希望をもって新たな一歩を踏み出します。



4月9日(土) 10時30分から
想青学園 体育館

開校宣言

教育長 三好 雅章

かかわる・つながることにより、子どもたち、保護者・地域の皆様、教職員が生き生きと輝く福山市立想青学園を開校することを宣言します。



福山市長 枝広 直幹



内海・沼隈地域は、歴史・文化・産業・自然等様々な魅力ある学習素材にあふれています。

新しい教科“SOSEI学”を創設し、前期課程では山本瀧之助・阿伏兎観音・沼隈ぶどう・アサリ・山南川などについて学び、疑問に思ったことを調査分析する地域探究に取り組みます。後期課程では、地域創生をテーマにふるさとの未来を地域の人々とともに考え、地域や福山のために自ら行動できる力を育てていきます。

この学園で学ぶ皆さんには地域の方々から様々なことを教えていただき、郷土に対する愛着と誇りを深め、たくましく生きる人になってください。

福山市議会議員 小川 真和



開校にあたって、多大な御尽力と御協力をいただいた開校準備委員会委員をはじめとする関係者の皆様に、心から感謝と敬意を表します。森友嵐士様に制作いただいた校歌の歌詞に掲げ

ていただき、学校生活が次への飛躍につながっていくことを心から願っています。

児童生徒の皆さんには元気で楽しく、そして明るく頑張っていたいだきたいと思います。

開校準備委員会委員長 門田 均



開校準備委員会が発足した頃は小・中学校7校が一つになるという全国でも例のない大きなプロジェクトであり、委員の皆さんも不安な中でのスタートでした。その中でも前向きな協議を進め、開校に向けての準備は整いました。

これからは、児童生徒・教職員で一体となって協力し合い、新たな伝統を創っていただきたいと思ひます。

想青学園は、コミュニティ・スクールとして学校運営協議会を設置し、地域も学校運営に関わります。地域と学校で協力し合いながら、住民が安心して暮らせるようなまちづくりを進めていきたいと思ひます。

校章制作者 小林 巳莉



再編により開校する7つの学校の場所をデザインに取り入れ、これから一緒に生活していくみんなが輪となりつながってほしいという願いを込めてデザインしました。

この校章が想青学園とともに永きにわたって歴史に残ることがとても嬉しいです。

感謝状贈呈

校歌制作者 森友 嵐士



小さい頃父親と魚釣りにも来ていた内海沼隈地域の学校の校歌を作らせてもらえるということで、とても嬉しい気持ちで制作させていただきました。

君たちの心には無限の可能性があります。一人一人の可能性・光を

仲間とともに育み、自分らしい未来を歩んでほしいと思ひます。皆さん一人一人が自分の力を信じて未来の可能性に向かって楽しくワクワクしながらみんなとつながって過ごしていってください。開校そして新しい始まり、おめでとうございます。

校長 岸本 千香子



7つの学校が一つになり、児童生徒589名と教職員59名でスタートします。新しい想青学園は、これから日本を先見した学校の姿と思ひています。それは、学校・地域・保護者が支え、支えられる関係を具現化した地域のコミュニティとしての学校です。地域、家庭、学校が子どもたちを中心に同じ視点を持ち、育んでいくことができることが、この学校の強みと考えています。

校歌にあるように『夢と希望と愛とワクワクにあふれた場所』となるよう、一人一人が自分らしく輝く教育を旨とします。

校長あいさつ

9年生 塚崎 心海



想青学園の歴史の扉が今ここに大きく開かれました。それぞれの学校の良さを融合させ、新たな文化の土台をしっかりと築き上げていきたいです。

この新しい学園の開校に携わっていただいた多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、地域の皆様に対しても様々な活動を通して関わりを持ち、皆様から親しみを持っていただける学校を旨として活動していきます。

9年生 藏本 なつみ



『どんなに大きな木も始まりは一つの種』という歌詞から、児童生徒全員が同じ目標をもち頑張っていける学校にしていきたいと感じました。1年生から9年生が一つになれるように、困難なことがあってもみんなで行動して乗り越えていきたいです。多様性を認め合い、喜びはみんなに分ち合い、悲しみは仲間と分け合える学園にしていきたいです。私たちみんなで新たな歴史の1ページ目に彩りを加え、未来へ向けてともに歩み続けましょう。

校旗授与・校歌斉唱



校旗が、教育長から校長へ授与されました。



校歌が体育館いっぱい響き渡りました。

感謝状贈呈

想青学園開校準備委員会事務局
福山市教育委員会事務局 管理部 学校再編推進室
電話：084-928-1279 / FAX：084-928-1737
E-mail：gakkou-saihen@city.fukuyama.hiroshima.jp



カラーのたよりを
こちらからご覧
いただけます。

